

<市立小中学校の対応>

- ・校区内に事前避難対象地域を含む学校（前記の小中学校、正色小、東築地小、名南中）は、原則として1週間休校します。
- ・それ以外は、後発地震に警戒しつつ、学校活動を継続します。



<事業者の対応>

- ・事前避難対象地域内の企業等は、明らかに生命に危険が及ぶ活動等について、危険を回避する措置（事業中止等）を検討してください。ただし、事業継続しながら従業員・利用者等の安全措置等を図る場合には、その措置を推奨します。
- ・それ以外は、後発地震に警戒しつつ、必要な事業を継続してください。



～事業者のとりべき行動例～

- ・安否確認手段の確認
- ・什器の固定・落下防止対策の確認
- ・食料や燃料等の備蓄の確認
- ・発災時の職員の役割分担の確認

<市公共施設の対応> 事前避難対象地域内は、原則として1週間閉鎖します。それ以外は、後発地震に警戒しつつ運営します。

▶ 地震に備えて、できることは？

①地震の揺れに備える

【屋内】◇家具の固定 ◇ガラスの飛散防止

家具の固定（L型金具、突っ張り棒等）
窓ガラスやガラス戸への飛散防止フィルム張り



【屋外】◇危険な場所の回避

事前避難対象地域や土砂災害が起きそうな場所
ブロック塀やガラスの多い場所に近づかない



②避難生活に備える

◇水・食料・日用品等の備蓄

家族の人数等に応じて1週間分を目安に
（マスクや消毒液、常備薬等もあると◎）



◇家族との安否確認方法の確認

災害用伝言ダイヤル 171
災害用伝言版サービス 等



◇避難先・避難経路の確認

避難先（知人・親類宅、市指定避難所）
と避難経路の事前確認



③地震火災に備える

◇感震ブレーカーの設置

地震を感知し、自動的にブレーカーを落とす
「感震ブレーカー」で通電火災防止



④その他

◇正確な情報の入手

悪質なデマには注意



◇地域での共助

隣近所との連絡・助け合い
に関する確認



問合せ

防災危機管理局 危機管理企画室

TEL : (052)972-3523 MAIL : a3523@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

南海トラフ地震臨時情報って何？

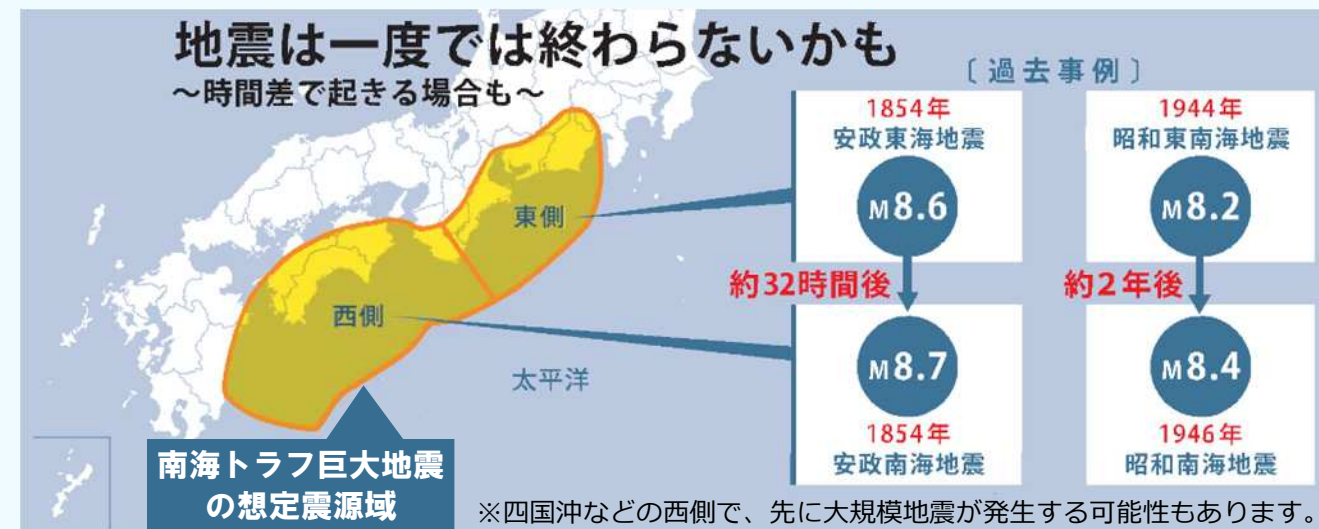
～巨大地震警戒時には事前避難が必要な地域があります～

◆南海トラフ地震に関する基本原則◆

- ・南海トラフ地震臨時情報の発表なく、突発的に発生し、津波や津波到達前の堤防沈下による浸水が起こることもあります。これまでどおり、突発地震への備えを大切にしましょう。
- ・臨時情報が発表されても基本的にライフライン（電気・ガス・水道等）は停止しません。あわてず、落ち着いて行動してください。

▶ 南海トラフ地震臨時情報とは？

東側と西側で地震が時間差で起きる場合もあることに着目した仕組みです。



▶ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）はどんな時に出るの？

南海トラフ地震想定震源域の東側または西側のどちらかで M8 クラスの地震が発生し、1週間以内に地震がもう片側で起こる可能性が通常と比べて高まっている時に気象庁から発表されます。

（巨大地震警戒のほかに巨大地震注意、調査中、調査終了といったキーワードが付されます）

西側で先に地震が発生した場合、本市の一部地域で事前避難が必要！

※最初の地震が M8.0 未満の場合は、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されることがあります。この場合、事前避難は呼びかけられず、一週間は地震への備えを再確認しましょう。

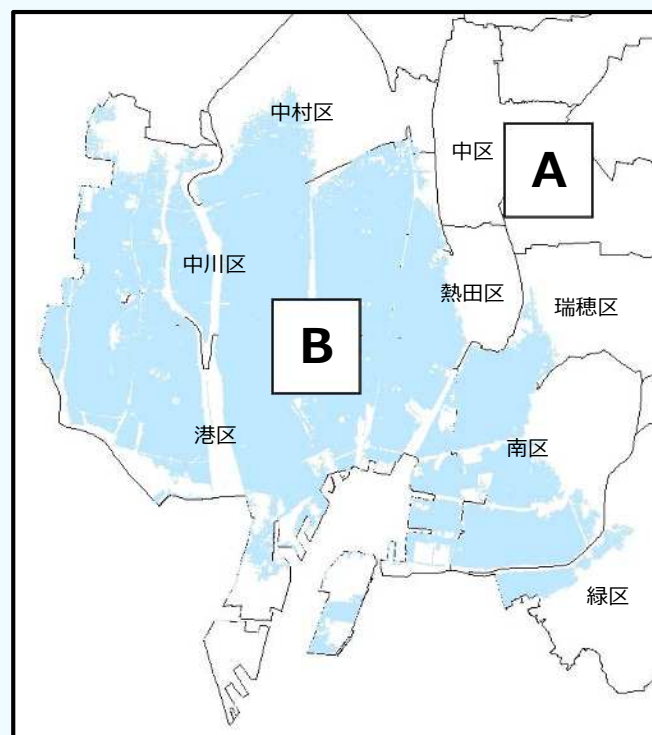
名古屋市

▶ 臨時情報発表後の**事前避難**とは？

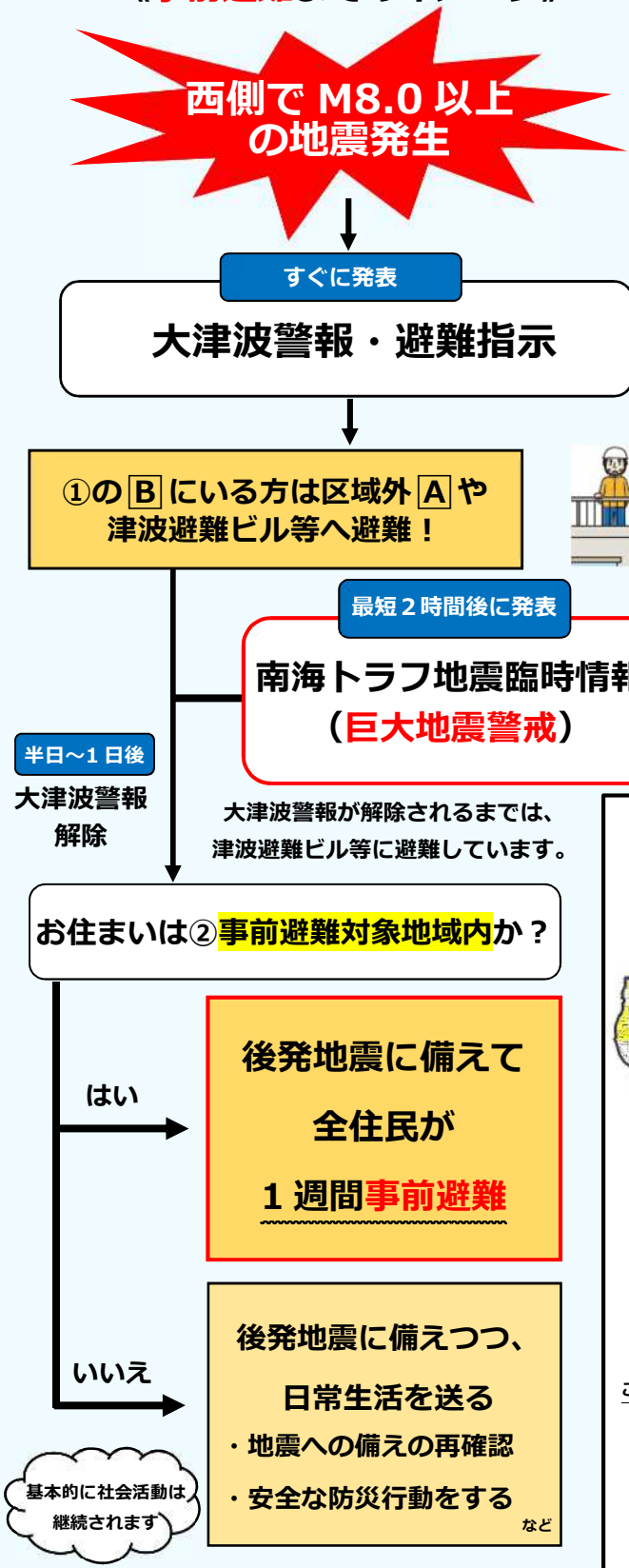
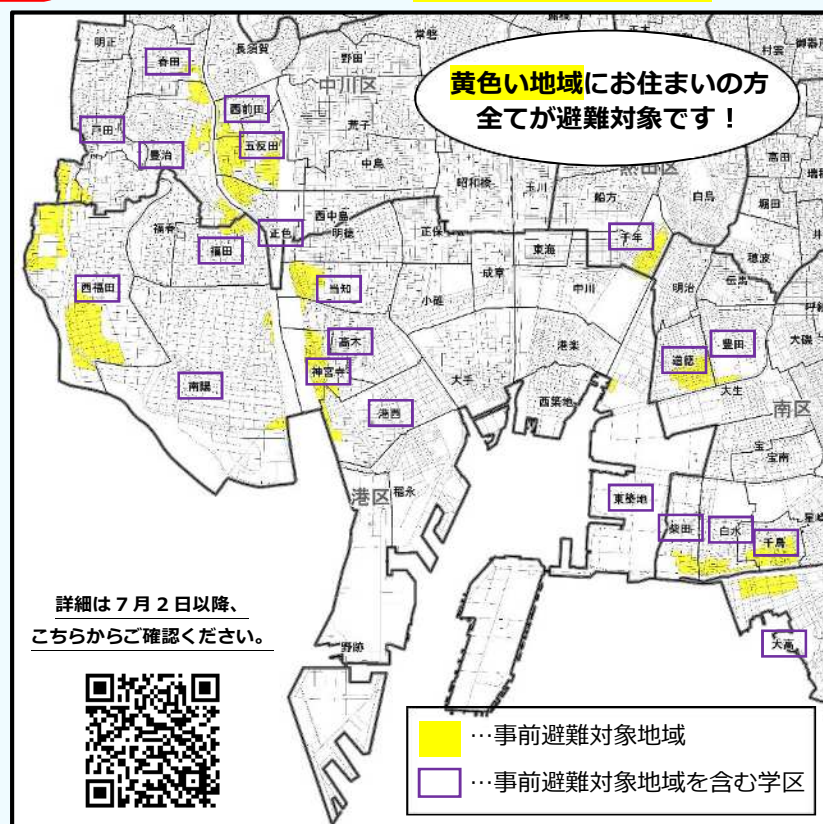
後発地震の発生時に、河川の堤防沈下による浸水※1で避難が間に合わないおそれのある地域（事前避難対象地域※2）の住民等が**事前に避難**しておくことで、より安全性を高めることです。

《事前避難までのイメージ》

＜①名古屋市内の津波浸水想定区域 B＞



＜②名古屋市内の**事前避難対象地域**＞



※1…想定外をなくすため、千年に一度起こるあらゆる可能性を考慮した最悪の想定（M9 クラスの地震が起こり、液状化により堤防に甚大な被害が生じた場合）に基づくものです。

※2…「事前避難対象地域」とは地震動に伴う堤防沈下の影響により、概ね地震発生から 30 分以内に 30cm 以上の浸水が生じる地域です。浸水範囲は時間とともに拡大するため、発災時には対象地域周辺の住民は早めの避難が必要です。

▶ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたときは？

＜市民の対応＞

臨時情報発表から	事前避難対象地域	それ以外
～1 週間	全ての住民が事前避難	後発地震が来ても準備は万全！
～2 週間	日頃からの地震への備えを再確認する 等	
2 週間以降	後発地震発生の可能性がなくなったわけではないので、注意しながら日常生活を送る	

▶ 後発地震に備えた**事前避難先**

- ・事前避難対象地域外の知人・親類宅への避難を基本とします！（困難な方は、市が開設する避難所へ避難）

市内全域において、耐震性や土砂災害の不安がある方も、市が開設する避難所を利用できます。

建物の耐震性や耐浪性があり、2 階以上への避難ができる場合は、在宅避難も

【市が開設する避難所一覧】

＜津波浸水想定区域外 A の避難所＞

○スポーツセンター等

- ・千種 ・東 ・北 ・枇杷島 ・中村
- ・中 ・昭和 ・稲永 ・守山 ・緑
- ・名東 ・天白 ・日本ガイシスポーツプラザ
- ・志段味スポーツランド
- ・東山公園テニスセンター

○生涯学習センター

- ・千種 ・東 ・北 ・西 ・中村 ・中 ・昭和
- ・瑞穂 ・南 ・守山 ・緑 ・名東 ・天白

○市立小中学校

- ＜熱田区＞ 宮中 ＜緑 区＞ 大高小、大高中

＜津波浸水想定区域内 B の避難所＞

※後発地震による大津波警報発表時は津波浸水想定区域外 A や当該避難所 2 階以上に避難する必要があります。

○市立小中学校

- ＜熱田区＞ 千年小
- ＜中川区＞ 五反田小、戸田小、春田小、豊治小、西前田小、一色中、富田中、供米田中、助光中
- ＜港区＞ 港西小、当知小、高木小、神宮寺小、南陽小、西福田小、福田小、宝神中、当知中、南陽東中、南陽中、東港中
- ＜南区＞ 豊田小、道徳小、白水小、千鳥小、柴田小、大江中

○生涯学習センター

- ・中川 ・港



★避難所は、避難者による「自主運営」です！

市職員と施設管理者の支援のもと、基本的に避難者自身が行います。

★災害発生前のため、避難生活に必要な水や食料、日用品等は各自で用意！

備蓄品の持ち込みだけでなく、避難中や避難後にスーパーやコンビニ等で購入することもできます。